

令和8年度「国語特講」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
国語特講		選択	2	普通（文型）
教科書 副教材等	探求 古典探究 古文編（桐原書店）探求 古典探究 漢文編（桐原書店） 古典読解問題 難解私大編（駿台文庫）			

1 学習目標

普通（文型）の「古典」分野を補い、さらに幅広い国語力を身に付けるための、本校独自の科目です。目標は、古典に関する幅広い知識を増やして古典（古文・漢文）の読解力を高めることです。

2 学習概要

(1)読解力を身に付ける

主に古文・漢文の問題演習を行います。

(2)記述力を身に付ける

入試レベルの記述問題への対応ができる記述力を養います。

(3)知識を増やす

古文単語、古典常識、漢文の句形、文学史等について、各種教材を用いて学習し、知識の定着を図ります。

3 学習方法

(1)「読解力」については、自分がこれまでに身に付けた事柄を総動員して取り組んでください。大学入試では、自分が持っている知識の量と、知識をつかって問題解決をする応用力とが試されます。多くの問題を読み解くことによって知識や応用力が身に付きます。

(2)「記述力」については、「読解力」が基礎になります。多くの問題を読み解くことによって身に付きます。最初から諦めずに自分なりに考え、必ず答えを書きましょう。

(3)「知識を増やす」には、分からない単語や古典世界の疑問が出てきたら自分で調べ、それらを繰り返し学習することが大切です。また、機械的に覚えるのではなく、ことばの語源や文章中での用法など、生きた言葉を主体的に学び取っていくことが大切です。

4 試験と評価について

(1) 評価方法

「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能（①）	思考・判断・表現（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考查等
一 学 期	【竹取物語】 「天の羽衣」 【大和物語】 「姨捨」 【故事】 「漱石枕流」 【史伝Ⅰ】 「赤壁の戦い」	・物語を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉える。また、歌物語における和歌の役割を知って、平安時代の文学への関心を高める。 ・比較的短い文章を読んで話の内容を理解することにより、漢文を読む楽しみを味わう。また、故事に込められた古代中国人のものの方・考え方について理解する。 ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝を読んで、その魅力を味わう。また、主人公の人物像を把握するとともに、同時代に生きた人物について理解する。	期末考查
二 学 期	【更級日記】 「門出」 【大鏡】 「道長と伊周の競射」 入試問題演習 【詩】 絶句 律詩 古体詩 入試問題演習	・日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉える。また、回想日記の特質を知って、平安時代の文学への関心を高める。 ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取る。 ・さまざまなスタイルの漢詩を読んで、それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉える。	期末考查
三 学 期	【平家物語】 「宇治川の先陣」 入試問題演習	・軍記物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取る。また、「平家物語」について論じた現代の文章を読んで、「平家物語」の描写の特徴について考察する。	